

## 環境との調和に配慮した暗渠排水とは

現在、農林水産省でも提唱されているように、これからますます「環境との調和に配慮した整備事業」が重要になってきます。現在行われております『ほ場整備(水田・畑)』事業に関して、主にほ場内の暗渠排水や湧水処理工事において、特に地中の目に見えない状態で、大量に埋設して使用されている合成樹脂製(プラスチック)の暗渠排水用吸水管(以下、合成樹脂管)を例に、私どもが前々から懸念を抱いていますことについて簡単に説明し、表題の目的達成に充分役立つことを確信し提案いたします。

1. 合成樹脂管のかかえている大きな問題点。(ここでは、ほ場整備での使用に際し、のちのちの維持管理や、廃棄処分が困難な状態で埋設施工されているものに関して)

a) ゴミ問題                      b) 環境汚染問題                      c) 社会的コスト

### a) ゴミ問題

現在の近代文明で大きな問題となっているものにゴミ問題がありますが、農地に埋設されて排水機能寿命の尽きた合成樹脂管(耐用年数が約10年と短い)も同様です。地中にあるから見えないだけで、あきらかに産業廃棄物です。

- ・今日のゴミは、戦後の石油化学工業でつくり出されたプラスチック類が大部分を占めていますが、人間の手によって人為的に合成されたものです。
- ・これらは人類誕生以来、かつては自然界になかったものです。もともと自然界にある自然系素材とちがって、微生物などの分解浄化作用が機能せず、自然に回歸できない素材です。
- ・暗渠排水工事において、われわれの貴重な食料を生み出してくれる大切なほ場に、「排水能力」が小さく、「排水不良率」が大きい、そして「ライフサイクル(排水機能寿命)」がほぼ10年ときわめて短い、合成樹脂製の吸水管が、これまで多くの地区で大量に埋設使用されてきました。

### b) 環境汚染問題

合成樹脂管をはじめとするプラスチックはさまざまな主原料や添加物でできており、その成分の世代を越えた環境汚染が懸念されています。

- ・プラスチックの原材料には環境に害を与える恐れがあるとされている化学物質(有害化学物質やいわゆる環境ホルモンの疑いがあるもの)を含むものがあります。
- ・これらの成分が溶出して環境を汚染することが現実のものとなっています。すなわち土壌や河川、海などの水質を汚染しています。その結果、食物連鎖による化学物質の悪影響は小さな子どもたちのみならず、次世代にまで及ぶことが懸念されています。(これらのメーカーは添加物を含めた成分を公表していません)

### c) 社会的コスト

上記の a), b) は廃棄物処理コストや環境復元コストなどの社会的なコストを大きく押し上げるばかりでなく、さらに環境を悪化させることとなります。

- ・寿命が尽きたあとの産業廃棄物としての処理対策が未解決のままです。一見手軽で安価のように思われるプラスチック類ですが、短いライフサイクルとそれに要する維持管理および再施工コスト、寿命がきたものを掘り起し処理するときの膨大な処理コスト、さらには元のきれいな環境へもどす環境復元コストなどがかかることが十分予想されるのはもちろん、それにとまなう土壌大気水質汚染などの二次的な環境汚染の誘引となります。(ゴミ問題の典型例が、香川県の豊島です。大部分がプラスチックのゴミで莫大な処理コストと二次汚染が現実のものとなっています)

## 2. これらの対策への提案

### a) 対策としては・・・

- ・排水効果に優れ、ライフサイクルすなわち耐用年数の長い資材を使うことで、結果としてゴミを減らせる。
- ・環境を汚染する恐れのある物質を含まない素材からできた暗渠排水資材を使用する。  
すなわち、先達たちによる歴史と実績をもつ自然系素材へ回帰する。  
→ 新しいものもいいものだとは限りません。
- ・施工後の維持管理、排水不良個所の再施工、廃棄物処理対策などをしなくていい素材からできた資材を使用していくことで、それらの二次的な作業が不要となり、環境への負荷を大きく軽減できる。おまけに無駄遣いをなくせ、社会的コストの削減にもつながる。
- ・環境行政は、「予防原則」がきわめて重要である。

### b) 提案：最適な暗渠排水用吸水管とは・・・

- ・私どもが長年関わってまいりました暗渠排水用吸水管に関して、世界では数千年の歴史をもち、日本でも飛鳥時代にはじまる実績で農家からの信頼も厚く、地元で採れる土から作った、組成が地殻そのものの「**素焼土管**」こそが、効果・寿命・環境にとって最適であると考えます。

**素焼土管なら「自然そのもので、丈夫で長持ち、」・・・実績が違います！**

※ 何といても農地は、われわれの糧となる農作物を子々孫々まで、  
延々と造り続けてくれる自国の貴重な資源なのでから・・・